

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業				
事業名	円・こどもステージ「あらしのよるに」						
目的・内容	<p>親と子が共に育つための文化芸術による体験機会の提供を目的とした事業。 子どもたちが質の高い舞台芸術を鑑賞することで豊かな感受性を育むとともに、親子（家族）で同じ空間を共有し感動を分かち合える場を提供する。 【使命】「県民へのサービスの推進」 【事業の柱】「親と子が共に育つための文化芸術による体験機会の提供」</p>						
開催日時	平成20年5月25日(日) 開演14:00						
会場	倉吉未来中心大ホール						
入場料・参加費 (友の会)	大人2,800円 (2,500円)	中・高生1,200円	小学生以下500円				
集客状況	入場者数	537名	設定席数	820席	集客率	65.4%	
事業費状況	予算額	収入	1,298,700円	支出	3,573,000円	収支比率	36.3%
	決算額	収入	972,900円	支出	1,877,243円	収支比率	51.8%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を全巻読んで涙が出るほど感動し、今日もまた感動を新たにしました。 ・退屈させないように工夫してあって、子供たちも大笑いしていました。 ・ラストがどうなったのか分からなかったのですが、終わったことがわかり切くなりました。また会わせてあげたいものです。 ・舞台裏の説明（アフタートーク）がよかった。 ・チャイルドシートがよかった。 ・子供が暗くなって怖がって泣いたので、周りに気を使って外に連れて出られるとき、パタパタ足の音がして気になりました。 ・声が少し聞き取りづらいところがありました。 						
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働推進者との連携が図れ、公演自体も例会という位置づけで販売促進にも繋がった。 ・トータルなPRと財団強化事業として、組織的な販売促進が図れた。 ・お客様のアンケート結果をみても、満足度は高く、質の高い、充実した公演であった。作品としての感動を多くの親子に与える機会が提供できた。 ・付加的な成果として、舞台ボランティアの研修(バックステージの見学)が実施できた。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演劇人口の新規開拓に当たって、体系的に取り組む必要があるだろう。 ・当日運営での舞台とフロントスタッフの連絡体制の徹底や連携方法の整備が課題として残った。 						
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子を対象とした文化芸術を提供する目的において、効果的な事業および事業内容であったと評価できる。 ・アフタートークでのバックステージ(パリン作業)の公開は、舞台への興味を深める良い取り組みだった。 ・公演そのものは、面白く、質も高く、顧客満足度をみても分かる通り、良い事業だったと思う。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子チケットの導入・設定も検討してよいと思われる。 ・親子を対象とした事業は評価できるものであり、今後の継続が望まれる。同時に、鑑賞態度の育成が課題。 ・スタッフ間の事前連絡不足、アフタートークの進行調整の不足などが課題だった。 						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・協働推進者がその事業にどう関わるのか事前の調整を徹底する。 ・事業実施決定後は協働推進者として、広報・販売促進等を依頼し、より一層の協働を検討していく。 ・親子チケットなどの導入を検討していく。 ・鑑賞マナーの周知方法も検討していく。 						